

デフバスケットボール男子日本代表が千葉市内で強化合宿・交流イベントを実施します ～強化合宿等の実施に先立ち、選手等が市長を表敬訪問します～

デフバスケットボール日本代表は、2025年11月に国内で初めて開催されるデフリンピック（ろう者による国際スポーツ大会）でのメダル獲得を目指し、デフスポーツの普及も兼ねて定期的に全国各地で強化合宿を行っています。

このたび、男子日本代表が千葉市内で強化合宿および交流イベントを実施しますので、お知らせします。

また、強化合宿等の実施に先立ち、選手等が市長を表敬訪問しますので、併せてお知らせします。

1 千葉市内での強化合宿

(1) 場所

千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター（稲毛区天台6-5-1）

(2) 日時

令和6年2月24日（土）13:00～19:00

25日（日） 9:00～16:00

(3) 合宿の内容

日本代表選手・候補選手12人が参加し、東京都の社会人バスケットボールチームとゲームを含めた合同練習を行う予定です。

2 交流イベント

(1) 場所

市立本町小学校（中央区本町2-6-23）

(2) 日時

令和6年2月24日（土）9:00～11:00

(3) 内容

地元のミニバスケットチーム「鶴沢クレインズ」が、日本代表選手と一緒に耳に頼らない「サインバスケット」を体験します。

3 市長表敬訪問

(1) 日時

令和6年2月21日（水）15:00から

(2) 場所

市役所高層棟4階 市長応接室



デフバスケットボール男子日本代表

(3) 訪問者

デフバスケットボール男子日本代表
鈴木 聡太（すずき そうた）選手
三瀬 稜史（みつせ たかし）選手
北村 遼（きたむら りょう）選手
椎津 彩子（しいづ あやこ）マネージャー

4 取材について

強化合宿および交流イベントの取材を希望される場合は、2月21日（水）17：00までに、スポーツ振興課（電話245-5965）へご連絡ください。

※市長への表敬訪問については申し込み不要です。

<参考>

1 デフリンピックについて

国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）が主催し、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会です。

第1回は、1924年にフランスのパリで開催されました。

東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催になります。

(1) 開催日程

2025年11月15日（土）～26日（水）

(2) 会場

駒沢オリンピック公園総合運動場ほか

(3) 競技

全21競技

陸上、サッカー、卓球、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、バドミントン、レスリング（フリースタイル・グレコローマン）、空手、柔道、テコンドー、水泳、テニス、ビーチバレー、自転車競技（ロード・MTB）、ボウリング、ゴルフ、オリエンテーリング、射撃

2 デフバスケットボールについて

聴覚障害者によるバスケットボールをデフバスケットボールと言います。主な特徴としては、競技中の仲間が走り回る足音、ドリブルでボールが跳ねる音、味方や監督の声、観客の応援の音などが聴こえにくい、もしくは全く聴こえない状態でバスケットボールをプレーします。

特別なルールはありませんが、特別な措置として、コート対角にフラッグマンを設置します。審判やテーブルオフィシャルのブザーの音が鳴ると同時に目立った色の旗を振ってもらうことによって視覚的に状況を判断できるように情報保障を行なっています。（日本デフバスケットボール協会ホームページより抜粋）

○特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会ホームページ

【URL】<https://jdba.sakura.ne.jp/>

